

回覧

桜地区防災ニュース「きらら」



平成29年12月号
発行責任者
桜地区自主防災協議会
桜地区連合自治会

◎ 知っておきたい災害知識 : Part 2

災害知識の内容として「速報」「警報」の内容について掲載をさせていただきます。より正確で迅速な判断が出来るようになり、自分や多くの人を助けることができますので、参考にしてください。

○ 緊急地震速報の仕組み

地震が発生すると、小さな揺れを起こすP波の後に、大きな揺れを起こすS波がやってきます。緊急地震速報は、先に伝わるP波を検知することで、S波が迫ってくることを知らせます。震源地の近くでは緊急地震速報が間に合わない場合もあります。



区分	情報発表の名称	内容
地震動予報	緊急地震速報（予報）	最大震度3以上 またはマグニチュード3.5以上
地震動警報	緊急地震速報または	最大震度5弱以上
地震動特別警報	緊急地震速報（警報）	最大震度6弱以上

★ 台風と熱帯低気圧

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びます。このうち、北西太平洋または南シナ海に存在し、最大風速（10分間平均）がおおよそ17m/s以上のものを「台風」と呼びます。台風は上空の風に流されて動き、地球の自転の影響で北へ向かう性質を持っています。そのため、通常東風が吹いている低緯度では台風は西に流されながら北上。上空で強い西風（偏西風）が吹いている中・高緯度に来ると台風は早い速度で北東へ進みます。



裏面につづく

回覧								

防災ニュース「きらら」は単独で回覧をお願いします。

○ 台風や大雨に関する警報・注意報

大雨注意報	大雨による浸水災害や土砂災害などが発生する恐れがある場合に発表。雨がやんでも、土砂災害などの恐れが残っている場合は発表を継続します。
大雨警報	大雨による重大な浸水災害や土砂災害などが発生する恐れがある場合に発表。雨がやんでも、重大な土砂災害などの恐れが残っている場合は発表を継続します。
強風注意報	強風により災害が発生する恐れがある場合に発表。
暴風警報	暴風により重大な災害が発生するおそれがある場合に発表。
雷注意報	落雷により災害が発生する恐れがある場合に発表。発達した雷雲の下で発生することが多い突風、ひょうの注意喚起を付加することもある。急な強い雨への注意についても雷注意報で呼びかけます。

○ 台風や大雨に関する特別警報

大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合と、数十年に一度の強度の台風や同程度の熱帯低気圧により大雨になる時に発表。大雨特別警報が発表されると、浸水や土砂災害などの重大な被害の発生する恐れが著しく大きい状況が予想されます。雨がやんでも、重大な土砂災害などの恐れが著しく大きい場合は発表を継続します。
暴風特別警報	数十年に一度の強さの台風や同程度の熱帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合に発表
記録的短時間大雨情報	大雨情報が発表されている時に、数年に一度程度発生する激しい短時間の大雨を観測、解析したとき発表。地域にとってまれな状況でも周知のために発表されます。
河川洪水予報	氾濫注意情報、氾濫警戒警報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の4つを水位や流量により発表されます。
土砂災害警戒情報	大雨情報が発表されている時で、土砂災害の危険が高まった時に、対象となる市町村を特定して、発表されます。

大雪に関する「大雪注意報」「大雪警報」「大雪特別警報」
 「風雪注意報」「暴風雪警報」「暴風雪特別警報」
 「なだれ注意報」「融雪注意報」「着雪注意報」
 「着氷注意報」「霜注意報」「低温注意報」
 その他「濃霧注意報」「乾燥注意報」
 などがあります。

以上



参考文献：「東京防災（知っておきたい災害知識）」